

高校球児による現場作業体験と人工芝講習を実施しました！！

県北建設事務所では、2020東京オリンピックに向けて改修工事に着手した県営あづま球場において、12月8日（土）に高校球児による現場作業体験と人工芝講習を実施しました。この取組は、野球に青春をかける高校球児の皆さんに、実際に改修工事の一部を体験してもらうことで、建設業への理解を促すとともに、建設業を少しでも身近に感じてもらうことで、建設業の担い手確保へとつなげていくことを目的として実施したものです。

今回の取組には、福島高校と福島東高校の野球部の皆さん総勢61名が参加しました。あづま球場は改修工事により、これまでの天然芝から人工芝へとなりますが、今回の現場作業では、「天然芝はがしと運搬作業」を体験していただきました。



人力での天然芝はがしに挑戦



はがした芝の運搬にも力が入ります！

球児の皆さんは、普段鍛えている体力と気合いを存分に発揮して作業体験に挑んでいるようでした。慣れない現場作業にもかかわらず、機敏に手際よく作業をするようすには、作業を見つめる大人たちも感銘を受ける程でした。また、作業体験後には「人工芝講習」を実施し、皆さんは熱心に耳を傾けました。



「人工芝講習」に熱心に聞き入るようす



人工芝のサンプルで一足先に踏み心地を体験！

今回の取組をとおして、あづま球場にさらなる愛着を持っていただけたことかと思います。また、普段関わることの少ない「建設業」をより身近に感じてもらうことで、今後の進路を考える上での一つのきっかけとなれば嬉しい限りです。

(裏面に続きます！)

「建設業振興に関する意見交換会」を行いました！

県北建設事務所では、活力ある建設業の実現へ向けた取組として、11月21日（水）に「建設業振興に関する意見交換会」を実施しました。この意見交換会には、県北管内の土木・建築関連の会社に勤務する技術者計16名が出席し、「今後の建設業のあり方」について意見を交わしました。

出席者は4つのグループに分かれて、①仕事を効率化するための方策、②10年後の建設業を考えるという2つのテーマについて、現状や課題、解決策についてグループ討議を行いました。また、県北建設事務所の部長級職員が各グループにおけるアドバイザーとして参加し、受発注者それぞれの立場から意見を出し合いました。



積極的な意見により白熱した議論となりました。



終盤には意見交換結果の発表を行いました！

出席した皆さんはお互いに「現場における生の意見」を出し合うとともに、今後の建設業の発展のために熱い意見を交わしました。今後とも、受発注者で連携して建設業の発展に取り組んでいきます。

新分野へ進出した建設企業に対して認定交付式を行いました！

県北建設事務所では、福島県建設業新分野進出企業認定交付式を12月19日（水）に行いました。

福島県では、建設業の新分野進出事業に対する意欲の向上と、地域経済の活性化、雇用創出と確保へつなげることを目的に、新分野進出を果たした建設企業の認定を平成20年度より実施しています。

今回の認定交付式では、県北管内より、(有)丸中建設、(株)野地組、信陵建設(株)の3社の3事業を新たに認定しました。

【会社名】	【新分野内容】
(有)丸中建設	いちご、ねぎの生産及び販売事業
(株)野地組	太陽光発電業務事業
信陵建設(株)	一般貨物自動車運送業



認定式での記念撮影のようす

左より、県北建設 堀田所長、(有)丸中建設 遊佐社長、(株)野地組 野地社長、信陵建設(株) 斎藤社長、県北建設 外川主幹兼企画管理部長

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

